



・巻頭言

盛夏の候 皆様ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

元号が令和となり、はや3ヶ月となります。新元号の意味は、政府の発表によると「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ・希望に満ち溢れた新しい時代を切り開いていく」という祈り・願いが込められているとのことです。

保護者の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。ご加入いただいております“つわぶき後援会”は「学生の福利厚生の充実および教育振興」目的に設立され、国家試験対策等の教育関係、学生同士および教職員の方との交流活動、サークル活動・学園祭の助成等の支援を行っています。

後援会の名称の「つわぶき」はキク科の山野草で、花言葉は「愛よ、蘇れ」と言われています。心身を病んだ人々の希望の光を蘇らせることができる看護師・保健師・助産師を社会に送り出すという思いを込めた名称となっています。学生の皆様は、サークル活動、ボランティア等学生の間にも多くの交流活動を経験し、悔いのない充実した学生生活を送っていただきたいと思っております。

また、学生の皆様が安心・安全な大学生活を送れるよう、つわぶき後援会をはじめ大学との連携を密に行い一致団結し、支援をしていきたいと考えています。

保護者の皆様には、お子様との双方向のコミュニケーションを密にいただき、学生生活を見守り支援をしていただくとともに、引き続きつわぶき後援会へのご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和元年8月

つわぶき後援会長 星野 純代

今年はいよいよ梅雨明けとなりました。それと同時くらいに気象庁は「エルニーニョ現象」が終了したと述べています。そのため、今後日本は全国的に暑くなっていく可能性が出てきました。8月は、「30度」を超える日が多くなってくと予想されています。ぜひ熱中症にはご注意ください。

さて、島根県立大学出雲キャンパスでは、今年4月に大学院看護学研究科に博士後期課程を開設しました。これで、大学院では「修士」の学位に加えて、「博士」の学位も取得できるようになり、益々教育研究が充実してまいります。健康栄養学科1期生の皆さんが卒業される年には、健康栄養学科の大学院も設置する方向で準備委員会を設置し検討しております。

また、今年も島根県からの委託により、6月には認知症分野の認定看護師養成課程、7月には実習指導者養成講習会がスタートしており、卒後教育の場も増え、賑やかなキャンパスになっております。さらに、来年からは別科助産学専攻に加え、大学院で高度実践者としての助産学教育が設置される見通しであり、進化し続ける島根県立大学出雲キャンパスと言えます。

看護栄養学部では、看護学科、健康栄養学科との合同の講義が受けられるようにしております。例えば、「島根の地域医療」という科目では、一緒に県内8か所において3泊4日のフィールド学習に参加してもらうことになっており、チーム医療を担う一員として地域の健康課題を理解し、課題解決に向けどのように連携していくかを考えていきます。さらに「地域貢献」が大学の一つのミッションとなっており、大学として「地域貢献推進奨励金」をつけて、地域貢献に関心を持ち、学生が主体となって企画・実施する活動を支援しております。こうした活動を通して「自ら考え行動できる専門職」育成を目指しております。

「異文化研修」でも、両学科合同で韓国研修、米国研修をすることになっており、7月31日には海外研修壮行会を行う予定となっております。その他、国内ですが沖縄研修も実施しており、3キャンパス合同では中国研修やマレーシア研修もごさいます。加えて、国際交流委員会ではインドネシア研修、台湾研修も検討しているところでございます。

2030年には、我が国の人口の1/3近くが65歳以上の高齢者になると予測されており、労働人口の減少に対して、外国人労働者に頼らざるを得ない現状があります。他国の医療や文化を見聞したり学生交流を通して、多様性と人権を尊重し、ともに健康支援できるよう視野を広げられる機会を提供していきたいと考えております。より学生さんの参加しやすく勉強になる研修を作成し、決まり次第お知らせしたいと考えております。

学生生活支援講演、健康教育講演、大学生活スタートセミナー、チューターと学生との懇談会も開催しました。今後より緊密に皆さまとご連絡を取らせていただきながら、学生生活をサポートしていきたいと考えております。看護学科の就職について、例年並みに県内外で好調で100%でございました。就職ガイダンスの実施、マナー教育、模擬面接などのキャリア教育は引き続き行っていくことにしております。今後、病院や企業訪問などして、卒業生の様子を聞くとともに、こういった専門職が求められているのか把握し、キャリア教育の充実を図ってまいりたいと考えております。

このように出雲キャンパスは「入学から卒業まで」だけではなく、卒業後のキャリア支援も含めて「生涯支援」を目指しており、これからも進化し続ける看護栄養学部の大学であり続けるつもりです。どうか引き続き、つわぶき後援会の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元年8月1日

副学長 石橋 照子

つわぶき後援会の活動

○つわぶき後援会総会

4月4日（木）入学式終了後に平成31年度総会を開催しました。120名の方にご出席いただき、次の議案について審議した結果、それぞれ承認されました。

【議事】

- 第1号議案：平成30年度事業報告
- 第2号議案：平成30年度決算報告
- 第3号議案：役員を選出
- 第4号議案：平成31年度事業計画
- 第5号議案：平成31年度予算

平成31年度のつわぶき後援会役員は次の方々をお願いすることとなりました。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【会長】 星野純代

【副会長】 岡村俊子

【理事】 高野真行

【理事】 原 康之

【監事】 高橋淳子

【副会長】 吾郷一美

【理事】 本田 崇

【理事】 藤井菜美恵

【監事】 垣田泰秀

【常任理事】 森本勝志（出雲キャンパス事務室長）

【理事】 永瀬順子

【理事】 岡 るみ

【理事】 高橋 勝

*敬称略

○新入生と副学長とのランチミーティング

新入生が副学長と昼食をとりながらフランクに意見交換を行うランチミーティングを開催しています。

毎回和やかに食事がすすむなか、学生たちの日常生活の様子や大学に対する意見を、副学長が直接聞くことができました。

貴重な声を大学運営に取り入れていきたいと思えます。



○学生とチューターとの懇談会

出雲キャンパスでは、学生を小グループに分け、それぞれに1～2名の教員が担当する「チューター制」をとっています。

後援会では、チューターと学生の懇談会経費を補助し、何でも気軽に相談ができ、快適で充実した学生生活が送れる環境づくりをお手伝いしています。

新入生は、緊張した面持ちで、自己紹介をしています。



○美術館・博物館補助

平成27年度から後援会事業として、美術館や博物館の入館料の半額補助を行っており、学生のみなさんに芸術的感性を磨いていただくことを目的としています。今年度も継続して行いますので、多くの学生に利用してもらいたいと思えます。

つわぶき後援会の活動

○つわぶき祭：6月8日（土）～9日（日）

テーマ：「 1/540～Be together as one～ 」



出雲キャンパスの学生、教職員の方一人一人が役割や責任をもって主体的に参加し、学校全体でつわぶき祭を成功させることができました。

日時：6月8日（土）～9日（日） 両日とも10：00～16：00

内容：・健康チェック（血圧・体脂肪・体組成・骨密度・血管年齢等）

・学生による学習成果発表やサークル活動展示

・ドクターヘリ、県防災ヘリ活動展示

・地域の方々によるステージ発表及び模擬店 ほか



オープニング



みんなでダンス



軽音サークル演奏



○学生交流会（大学生生活スタートセミナー）

4月10日（水）に学生自治会主催で「大学生生活スタートセミナー」を開催しました。

このセミナーは新入生が在学生や教職員と語り合うことにより、大学内でのサポーターや学習モデルをみつけ、自分に適した大学生生活を早期に確立できるよう支援することを目的としています。

グループに分かれて、自己紹介やゲームを楽しみました。



○生活習慣改善事業（サラダバー）



大学生になり一人暮らしを始めた学生も多くいます。偏った食事になりがちな学生をサポートする為、平成28年度より週2日、サラダバーを開催しています。

不足しがちな野菜をたっぷり、しっかり摂取し、バランスのとれた食事の重要性を学ぶとともに、健康で快適な学生生活を送っていきましょう。

サラダバー大好評です！！



キャンパスライフ

○ジョリーフォニックス（eラーニング）を開催しています

英語の基礎力を上げ音読力とリスニング力を高めることを目的に、つわぶき後援会支援のもとeラーニング（パソコン、携帯電話などを用いて行う学習）を今年度初めて開催しています。

受講学生は、講師である英国 Jolly Learning 社 Jolly Phonics 公式トレーナーの高橋まき子氏と Web 会議ツール「Zoom」で繋がり、ジョリーフォニックス（Jolly Phonics）のプログラムに沿って受講します。授業終了後に全9回開催し、基本の42音を習得する様、プログラムしています。

ジョリーフォニックスは、イギリスの小学校の先生が作った英語の文字の正しい音を習得できる様、伝わる英語の読み書きの力を高める指導法を用いています。身振り手振りで文字と音の関係を他感覚に覚え、音楽に合わせてながら意識して発音をするなど、楽しみながら積極的に受講し回を重ねるごとに活気を増していました。

参加者は、異文化研修へ参加する学生、希望者をあわせた全57名の学生が受講しています。

引き続き、秋学期も開催する予定です。



○キャリア支援講座を開催しました

【エントリーシート・面接対策講座】

日時：令和元年 4月17日（水）13：10～16：20

講師：株式会社マイナビ 湯澤 葉月 氏

参加者：看護学科4年次生、別科助産学専攻生
学生の感想（抜粋）

- ・就職活動に大きな不安があったが、具体的に説明していただきイメージをすることができ良い機会となった
- ・本番でのポイントやどのような事前準備が必要か分かってよかった。



【小論文対策講座】

日時：令和元年 4月24日（水）13：10～16：20

講師：東京アカデミー広島校 菅野 郁雄 氏

参加者：看護学科4年次生、別科助産学専攻生
学生の感想（抜粋）

- ・小論文の書き方の型が理解でき、就職活動に向けて学習し、準備していきたいと思いました
- ・字を綺麗に書くこと、読みやすい文章を書くことを心がけたいと思いました



☆令和元年度出雲キャンパス行事予定

7月7日	保護者懇談会
7月～8月上旬	春学期試験
8月11日～9月29日	夏季休業
8月中旬～下旬	異文化理解研修（米国・韓国）

12月25日～1月5日	冬季休業
1月～2月中旬	秋学期試験
2月中旬	看護師・保健師・助産師国家試験
3月12日	卒業・修了式
3月18日～	春季休業

発行・お問い合わせ先

〒693-8550 島根県出雲市西林木町151番地
島根県立大学出雲キャンパス（教務学生課）
TEL:0853-20-0200(代) FAX:0853-20-0201

出雲キャンパスのホームページも

ぜひご覧ください！

<http://izumo.u-shimane.ac.jp/>



島根県立大学
マスコット
キャラクター
「オロリン」